回　覧

クックちゃん新聞

No.218
2025.7月発行
編集・発行
玉川村公民館

7月　休館日　開館時間10:00～18:00

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7月29日はぎゅ～っと公民館！

「あづま号」から本を借りました！

福島県立図書館の移動図書館車「あづま号」が今回も巡回に来てくださいました。今回は小説や実用書、絵本、紙芝居など、約600冊の本をお借りしています。なかでも今回は、旅行やグルメ、園芸などの趣味に関する本が多くそろいました。
気になる趣味をさらに深めたり、新しい世界に出会ったりできるチャンスです。ぜひ、この機会にさまざまなジャンルの本にふれてみてください。

クックちゃん文庫は「ふくしま涼み処」施設です

「ふくしま涼み処」とは、熱中症予防のために提供している、暑いときにひと涼みできる場所です。クックちゃん文庫は、開館時間内であればどなたでもご利用できます。今年の夏も厳しい暑さが予報されています。図書室内のルールを守っていただき、どうぞ涼みにお越しください。

本を守ろうとする猫の話　夏川草介　著

夏木林太郎は、一介の高校生である。夏木書店を営む祖父と二人暮らしをしてきた。生活が一変したのは、祖父が突然亡くなってからだ。面識のなかった伯母に引き取られることになり本の整理をしていた林太郎は、書棚の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会う。トラネコは、本を守るため林太郎の力を借りたいのだという。
痛烈痛快！ センス・オブ・ワンダーに満ちた夏川版『銀河鉄道の夜』！

月とアマリリス　町田そのこ　著

北九州市の高蔵山で一部が白骨化した遺体が発見された。地元のタウン誌でライターとして働くみちるは、元上司で週刊誌編集者の宗次郎の連絡でそのニュースを知る。死因は不明だが大きな外傷はなかった。遺体の背景を追って記事にできないかという宗次郎の依頼を、みちるは断る。みちるには、ある事件の記事を書いたことがきっかけで、週刊誌の記者を辞めた過去があった。すべてから逃げたままの自分でいいのか。みちるは、この事件を追うことを決めた――。

始まりの木　夏川草介　著

藤崎千佳は、東京にある国立東々大学の学生である。所属は文学部で、専攻は民俗学。指導教官である古屋神寺郎は、足が悪いことをものともせず日本国中にフィールドワークへ出かける、偏屈で優秀な民俗学者だ。古屋は北から南へ練り歩くフィールドワークを通して、“現代日本人の失ったもの”を藤崎に問いかけてゆく。学問と旅をめぐる、不思議な冒険が、始まる。

スキマワラシ　恩田陸　著

太郎と散多は古道具店を営む兄弟。ものに触れるとそこに宿る記憶が見えるという散多は、古いタイルからこれまでにないほど強烈なイメージを受ける。そこに映し出されたのは幼い頃に亡くした両親の姿だった。タイルと両親にまつわる謎と、廃ビルで目撃された少女の都市伝説が交差するとき、時を越えた物語の扉が開く。兄弟のひと夏の不思議な冒険を描くファンタジックミステリー長編。